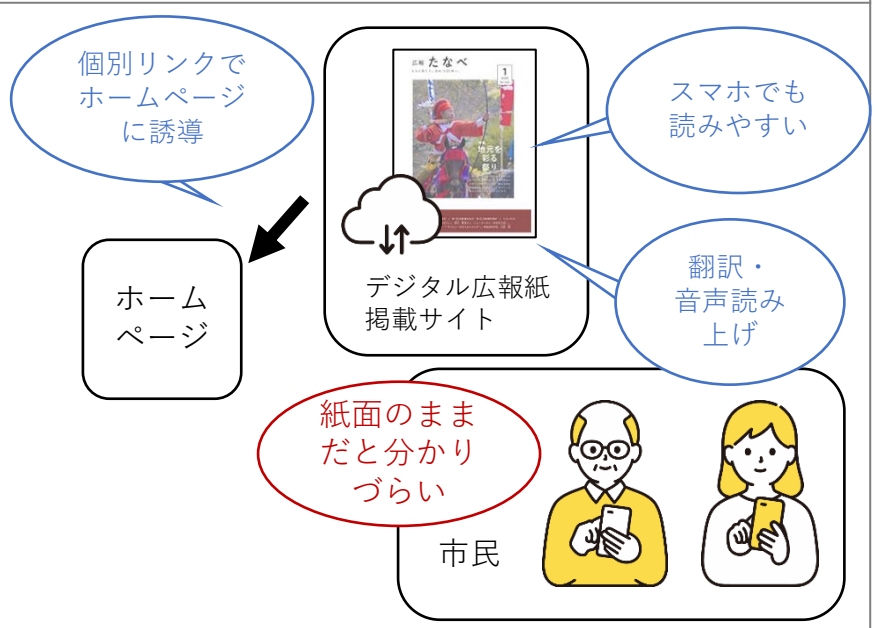
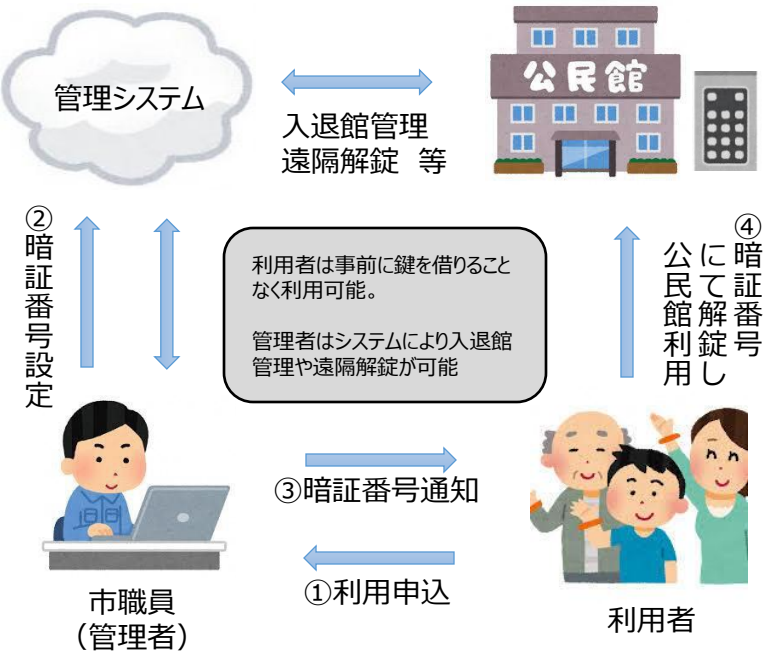
事業概要 【デジタルを活用し誰一人取り残さない広報事業】

事業内容	スマートフォン利用者が増加する中、現在の広報紙の電子媒体は、ウェブ上でPDFを公開しているだけにとどまり、スマートフォンでは閲覧しづらいという課題がある。そこで、デジタル広報紙の導入により、スマートフォンの画面サイズに合わせてテキスト等を表示し、閲覧しやすくするとともに、多言語翻訳、音声読み上げサービス、記事ごとに個別リンクを付与する機能を導入することで、複合的な方法により、利用者がより情報を得やすい環境を整備する。	
支援対象者	市民等	
具体 サービス	よりきめ細やかに情報を届けるため、また利用者が必要な情報を得やすくするために、デジタル広報紙の次のような機能を導入する。 ・スマートフォンの画面サイズに合わせた表示 ・多言語翻訳 ・音声読み上げ ・記事ごとに個別リンクを付与 ・ログ解析 ・自治体専用ページ	
事業費 （予定）	事業費　1,210千円 ・初期設定費　　385千円 ・システム利用料　825千円	
実施体制	事業推進主体　田辺市 委　託　先　スパイラル株式会社	

事業概要 【公民館スマートロック導入事業】

事業内容	本市の一部の公民館では、夜間・休日利用時に鍵の受け渡しが必要であることから、利用者にとって手続きや移動の負担が生じている。スマートロックの導入により、利用者は暗証番号を用いて非対面で入退室できるようになり、鍵の受け渡しが不要となるため、市民の利便性が向上する。また、公民館の多くは避難所に指定されており、災害時には遠隔解錠等により、地域住民が迅速に避難することが可能となるなど、安全性の向上にも寄与する。
支援対象者	公民館を利用される市民
具体 サービス	【スマートロック導入】 ・公民館９施設にスマートロック（キーボックス）を設置。 ・利用者は施設の入口付近にあるキーボックスから暗証番号を用いて鍵を取り出すことができ、施設の解錠と施錠が行える。 ・利用後、鍵はキーボックスに返却する。 ＜導入効果＞ ・鍵の貸出をしていた公民館では、鍵を借りる必要が無くなり、利用者の利便性が向上する。 ・管理システムでの遠隔解錠や非常用暗証番号により、災害発生時等において、職員が現地に赴く前に避難所（公民館）を開設することで、地域住民の早期避難が可能となる。
事業費 （予定）	事業費　2,321千円 備品購入費 2,152千円、システム利用料 119千円、通信費 50千円
実施体制	事業推進主体　田辺市 調　達　先　(株)カシワギロック、(株)リモートロックジャパン　他



事業概要 【議会字幕表示システム導入事業】

事業内容	聴覚に障害のある方や聞こえに不安を感じる方への情報バリアフリー推進及び傍聴機会の拡充を目的として、本会議の中継映像にリアルタイムで字幕を付与する「音声認識字幕表示システム」を導入する。
支援対象者	聴覚に障害のある方や聞こえに不安を感じる方を含め、市役所へ来庁し本会議中継等を傍聴される方
具体サービス	【議会字幕表示システム導入】 ■現状 　これまで聴覚に障害のある方の傍聴には事前申請による手話通訳で対応してきたが、短期間での手話通訳者の確保など運用面での課題が生じていた。また、聞こえに不安を感じる方にとっても、音声だけでは専門用語等が聞き取りづらく、議事を充分に把握しにくい状況であった。 ■改善後 　本会議の発言をリアルタイムで文字化する字幕表示を取り入れることで、事前申請を必要とせず、即時に議事内容を追うことが可能となる。手話通訳等とともに情報保障の選択肢を広げるものであり、聞こえに不安のある方々も含め、誰もが安心して会議の様子を把握することが可能となる。 【字幕配信モニター設置場所】 ◇議場内 ・傍聴者用モニター ◇本庁舎内 ・市役所６階議会ロビーモニター ・３階コミュニティスペースモニター ・３階市民課付近モニター 
事業費（予定）	事業費　3,379千円 ・リアルタイム字幕システム導入委託料　3,044千円 ・字幕用ノートＰＣ　248千円 ・保守委託料　87千円
実施体制	事業推進主体　田辺市 委　託　先　株式会社フューチャーイン関西支店